設定マニュアル

CuratOR®
EX2742
カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアルおよび取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- モニターの設置 / 接続については取扱説明書を参照してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の設定マニュアルをご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

1 基本の調整 / 設定 4
1.1 モニター設定を呼び出す 4
1.1.1 現在の設定を「User1」～「User5」に保存する 5
1.2 入力信号を切り替える 6
1.3 カスタムキーを使用する 6
1.3.1 カスタムキーに機能を割り当てる 6
1.4 操作ボタンをロックする 7

2 詳細な調整 / 設定 8
2.1 設定メニューの基本操作方法 8
2.2 設定メニューの各機能 10
2.2.1 カラー調整 10
2.2.2 信号設定 12
2.2.3 本体設定 14
2.2.4 インフォメーション 17
2.2.5 PbyP設定 17
2.2.6 PinP設定 18

3 こんなときは 20
3.1 画面が表示されない場合 20
3.2 画面に関する症状 20
3.3 その他の症状 21

4 ご参考に 22
4.1 主な初期設定値 22
4.1.1 プリセット 22
4.1.2 その他 22
4.2 ピン仕様 23
4.2.1 DC IN端子 23
4.2.2 本体のDC OUT端子 23
4.2.3 ACアダプタのDC OUT端子 24

付録 25
商標 25
ライセンス 25

1 基本の調整 / 設定

この章では、モニター底面のボタンを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。

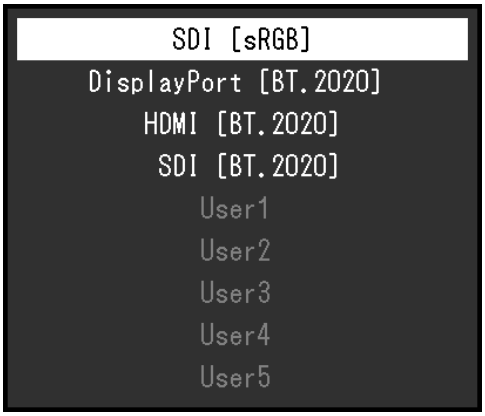
参考
• この製品の言語の初期設定は英語ですが、この設定マニュアル内では日本語のメニュー画面を使用しています。言語の切り替えについては本体設定 [P. 14]を参照してください。

1.1 モニター設定を呼び出す

工場出荷時に、あらかじめ基本設定が登録されています。
あらかじめ設定した次のプリセットに切り替えることができます。

- 「SDI [sRGB]」
  SDI信号用で、色域をsRGBにする場合の基本設定です。この項目を選択すると、入力信号がSDI 1で、色域はsRGBに設定されます。
  設定内容を変更することはできません。
  主な初期設定値については、4.1 主な初期設定値 [P. 22]を参照してください。
- 「DisplayPort [BT.2020]」
  DisplayPort™信号用の基本設定です。この項目を選択すると、入力信号がDisplayPortで、色域はBT.2020に設定されます。
  設定内容を変更することはできません。
  主な初期設定値については、4.1 主な初期設定値 [P. 22]を参照してください。
- 「HDMI [BT.2020]」
  HDMI®信号用の基本設定です。この項目を選択すると、入力信号がHDMIで、色域はBT.2020に設定されます。
  設定内容を変更することはできません。
  主な初期設定値については、4.1 主な初期設定値 [P. 22]を参照してください。
- 「SDI [BT.2020]」
  SDI信号用で、色域をBT.2020にする場合の基本設定です。この項目を選択すると、入力信号がSDI 1で、色域はBT.2020に設定されます。
  設定内容を変更することはできません。
  主な初期設定値については、4.1 主な初期設定値 [P. 22]を参照してください。
- 「User1」～「User5」
  現在の設定値と表示状態を保存できます。
  この項目は保存しない限り選択できません。詳細は現在の設定を「User1」～「User5」に保存する [P. 5]を参照してください。

1. （PRESET）ボタンを押します。
   プリセットメニューが表示されます。



2. ボタンを押して呼び出したい項目を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   あらかじめ登録された設定が呼び出され、設定が切り替わります。

参考
• プリセットメニューを表示中、約10秒間何も操作しないときは表示が消えます。

1.1.1 現在の設定を「User1」～「User5」に保存する

現在の設定値と表示状態を「User1」～「User5」に保存できます。

1. （MENU）ボタンを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. （F3）または（F4）ボタンを押して「本体設定」を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   「本体設定」メニューが表示されます。
3. （F3）または（F4）ボタンを押して「PRESET保存」を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   「PRESET保存」メニューが表示されます。
4. （F3）または（F4）ボタンを押して「User1」～「User5」のいずれかを選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   確認画面が表示されます。
5. （F3）または（F4）ボタンを押して「OK」を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   現在の設定値と表示状態が、選択した項目に保存されます。

1.2 入力信号を切り替える

モニターに入力した信号を選択し、画面に表示します。

1. （INPUT）ボタンを押します。
   入力ポートメニューが表示されます。
2. ボタンを押して、入力信号をDisplayPort、HDMI、SDI 1、SDI 2、DVIの中から選択します。
   選択した入力信号に切り替わります。
3. （INPUT）ボタンを押します。
   メニュー画面が終了します。

参考

- 2画面モード（PbyPまたはPinP）で入力ポートメニュー表示中に（INPUT）ボタンを押すと、「PbyP」/「PinP」メニューが表示されます。詳細は、PbyP設定 [P. 17]、PinP設定 [P. 18]を参照してください。
- 入力ポートメニューが表示された後に、キー操作を10秒間おこなわなかった場合、入力ポートメニューの表示が消えます。
- モニターに信号が入力されなくなってから60秒間経過すると、モニターのバックライトが消灯し、省電力モードに移行します。

1.3 カスタムキーを使用する

カスタムキー（F1（）、F2（）、F3（）、F4（））に割り当てられている機能を実行します。各カスタムキーに機能を割り当てる方法については、カスタムキーに機能を割り当てる [P. 6]を参照してください。

1. F1（）、F2（）、F3（）、F4（）ボタンを押します。
   押したカスタムキーに割り当てられている機能が実行されます。

参考

- 2画面表示（PbyPまたはPinP）では、「選択画面」側を調整します。

1.3.1 カスタムキーに機能を割り当てる

1. （MENU）ボタンを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. （F3）または（F4）ボタンを押して「本体設定」を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   「本体設定」メニューが表示されます。
3. （F3）または（F4）ボタンを押して「カスタムキー」を選択し、（ENTER）ボタンを押します。
   「カスタムキー」メニューが表示されます。

4. ⌄（F3）または⌃（F4）ボタンを押して機能を割り当てるカスタムキーを選択し、↵（ENTER）ボタンを押します。
5. ⌄（F3）または⌃（F4）ボタンを押して機能を選択し、↵（ENTER）ボタンを押します。
   選択した機能がカスタムキーに割り当てられます。

1.4 操作ボタンをロックする

調整、設定した状態を変更できないようにします。

1. ≡（MENU）ボタンと↵（ENTER）ボタンを4秒以上押します。

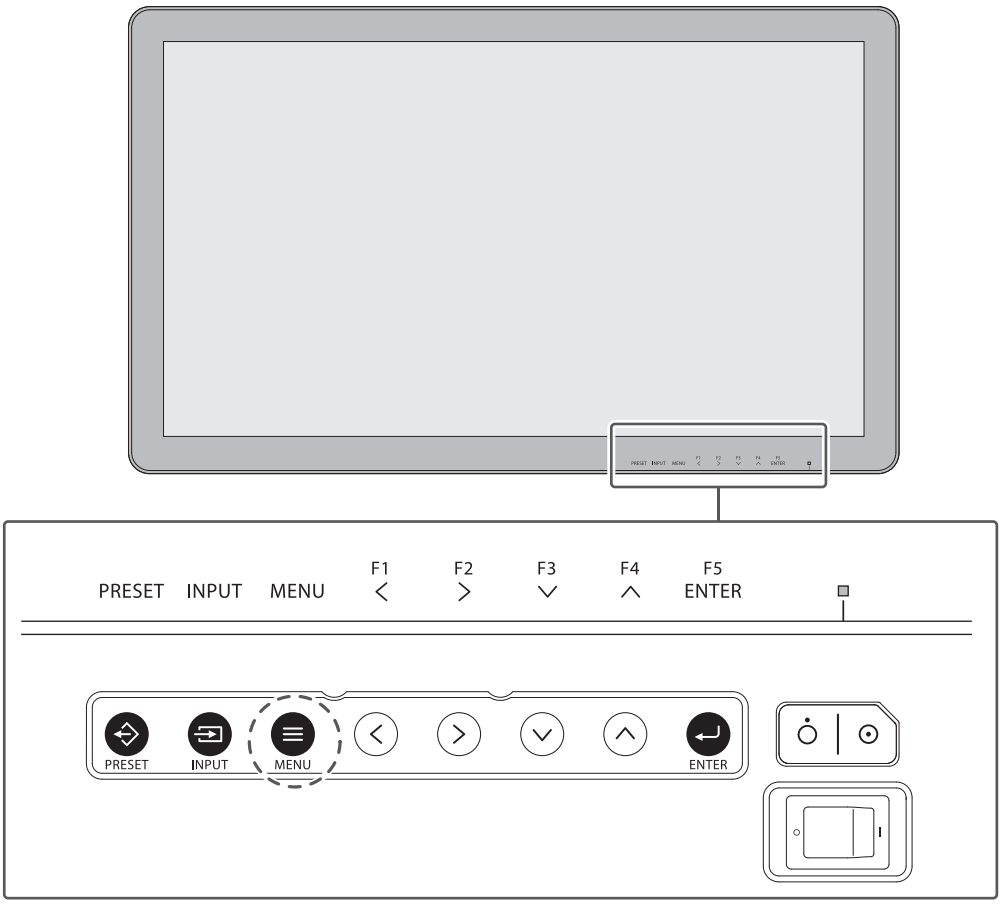
参考
• キーロックを解除する場合も≡（MENU）ボタンと↵（ENTER）ボタンを4秒以上押します。

2 詳細な調整 / 設定

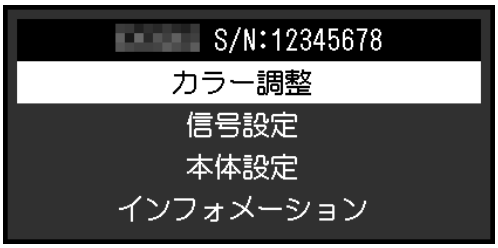
この章では、メインメニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。

2.1 設定メニューの基本操作方法

1. ● （MENU）ボタンを押します。

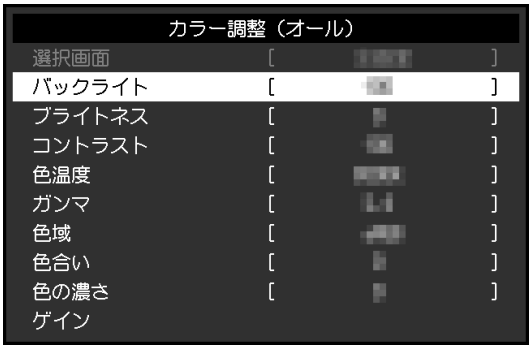


設定メニューが表示されます。



調整 / 設定中に● （MENU）ボタンを押すと、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

2. ⌄（F3）または⌃（F4）ボタンを押して調整 / 設定するメニューを選択し、↵（ENTER）ボタンを押します。
   サブメニューが表示されます。

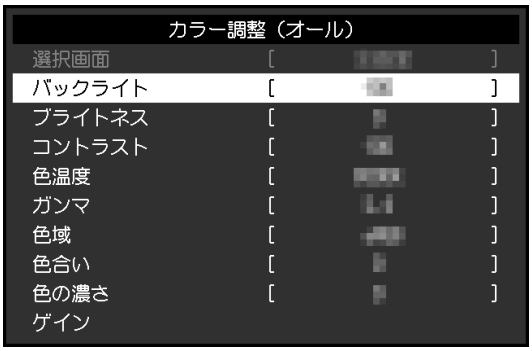


3. ⌄（F3）または⌃（F4）ボタンを押して調整 / 設定する項目を選択し、↵（ENTER）ボタンを押します。
   調整 / 設定メニューが表示されます。

4. ‹（F1）または›（F2）ボタンを押して調整 / 設定し、↵（ENTER）ボタンを押して設定を確定します。
   サブメニューが表示されます。
5. ≡（MENU）ボタンを押します。
   設定メニューが表示されます。
6. ≡（MENU）ボタンを押します。
   設定メニューが終了します。

2.2 設定メニューの各機能

2.2.1 カラー調整



選択画面

設定値：「左画面※1」/「右画面※1」/「親画面※2」/「子画面※2」/「全画面※3」

※1 「本体設定」の「多画面モード」を「PbyP」に設定した場合

※2 「多画面モード」を「PinP」に設定した場合

※3 「多画面モード」を「1画面」に設定した場合

2画面表示（PbyPまたはPinP）の際に、どちらの画面の設定をおこなうかを選択します。1画面表示の場合は無効です。

参考
• 2画面表示（PbyPまたはPinP）の場合、「選択画面」で選択した各画面のカラー調整ができます。

バックライト

設定値：「0」～「100」

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

参考
• PbyP / PinP時に「選択画面」で「右画面」または「子画面」を選択しているときは、「バックライト」が無効になります。

ブライトネス

設定値：「0」～「100」

黒の明るさを調整します。

コントラスト

設定値：「0」～「100」

コントラストを調整します。

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

色温度

設定値：「Native」 / 「6500K」 / 「9300K」 / 「User」

色温度を調整します。色温度とは通常、「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられます。数値はK（Kelvin：ケルビン）という単位で表します。炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

参考
• 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色で表示されます。 • 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。ゲインの値を変更すると、「色温度」は「User」に変更されます。（ゲイン [P. 11]参照） • 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

ガンマ

設定値：「1.8」 / 「2.0」 / 「2.2」 / 「2.4」 / 「2.6」 / 「DICOM®」 / 「PQ」 / 「HLG」

ガンマ値を調整します。

モニターは入力信号のビデオレベルによって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

色域

設定値：「Native」 / 「sRGB」 / 「BT.2020」

モニターの色再現域（色域）を設定します。色域とは表現できる色の範囲です。複数の規格が定義されています。

参考
• 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色域で表示されます。

色合い

設定値：「-100」～「100」

色合いを調整します。

色の濃さ

設定値：「-100」～「100」

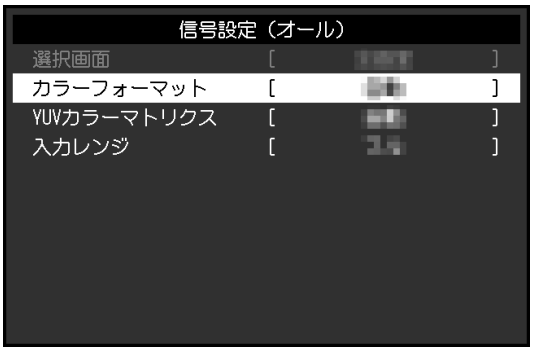
色の濃さを調整します。

ゲイン

設定値：「0」～「255」

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさを「ゲイン」と呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

2.2.2 信号設定



設定できる機能は、入力信号により異なります。

〇：設定可、－：設定不可

機能	入力信号			
	DisplayPort	HDMI	SDI	DVI
選択画面	〇	〇	〇	〇
カラーフォーマット	〇	〇	〇	－
YUVカラーマトリクス	〇	〇	〇	－
入力レンジ	〇	〇	〇	〇

選択画面

設定値：「左画面※1」/「右画面※1」/「親画面※2」/「子画面※2」/「全画面※3」

※1 「本体設定」の「多画面モード」を「PbyP」に設定した場合

※2 「多画面モード」を「PinP」に設定した場合

※3 「多画面モード」を「1画面」に設定した場合

2画面表示（PbyPまたはPinP）の際に、どちらの画面の設定をおこなうかを選択します。1画面表示の場合は無効です。

カラーフォーマット

設定値：「自動」/「YUV」/「RGB」/「YUV 4:2:2」/「YUV 4:4:4」/「YCC4:2:2 10bit」/「YCC4:2:2 12bit」/「YCC4:4:4 10bit」/「YCC4:4:4 12bit」/「RGB4:4:4 10bit」/「RGB4:4:4 12bit」

DisplayPort	HDMI	SDI
自動	自動	自動
YUV	YUV 4:2:2	YCC4:2:2 10bit
RGB	YUV 4:4:4	YCC4:2:2 12bit
	RGB	YCC4:4:4 10bit
		YCC4:4:4 12bit
		RGB4:4:4 10bit
		RGB4:4:4 12bit

入力信号のカラースペースを指定できます。

正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。通常は「自動」を選択します。SDI信号を入力した場合は、「カラーフォーマット」でビット深度の指定をおこないます。ビット深度の指定を誤った場合は、信号エラーが表示されます。

YUVカラーマトリクス

設定値：「自動」/「BT.601」/「BT.709」/「BT.2020」

入力信号のYUV形式を選択します。入力信号の問題で階調潰れなど正しく画像が表示できない場合に使用します。

入力レンジ

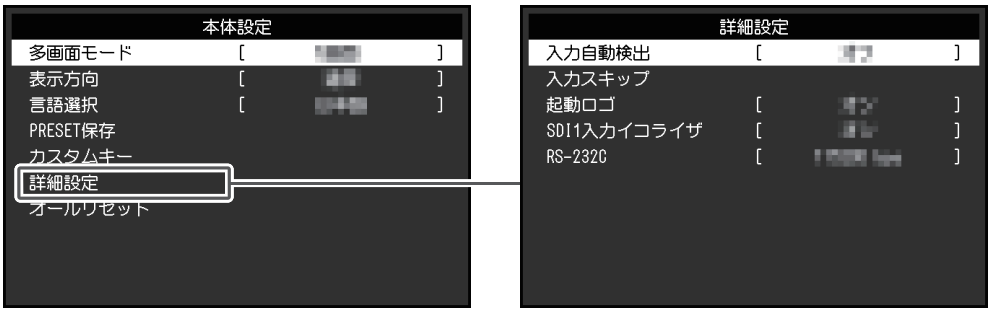
設定値：「自動[※1]」/「フル」/「リミテッド」

※1 入力信号がDisplayPortまたはHDMIの場合のみ

映像再生機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。このような信号をリミテッドレンジといいます。一方で、制限されていない信号をフルレンジといいます。

- 「自動」
  入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します（推奨設定）。映像再生機器によっては、リミテッドレンジとフルレンジをモニターが正しく判別できない場合があります。その場合、「フル」または「リミテッド」を選択することで、適切な表示にすることができます。
- 「フル」
  フルレンジの信号の場合に選択します。黒も白もつぶれている場合に選択すると、適切な表示になります。
- 「リミテッド」
  リミテッドレンジの信号の場合に選択します。黒が淡く、白がくすんで表示される場合に選択すると、信号の出力レンジを16～235に拡張し、適切な表示になります。

2.2.3 本体設定



調整できる機能は、多画面モードにより異なります。

〇：調整可、－：調整不可

機能		多画面モード	
		1画面	PbyP / PinP
表示方向		〇	－
言語選択		〇	〇
PRESET保存		〇	〇
カスタムキー		〇	〇
詳細設定	入力自動検出	〇	－
	入力スキップ	〇	－
	起動ロゴ	〇	〇
	SDI1入力イコライザ	〇	〇
	RS-232C	〇	〇
オールリセット		〇	〇

多画面モード

設定値：「1画面」 / 「PbyP」 / 「PinP」

1画面表示か2画面表示（PbyPまたはPinP）を選択します。「表示方向」が「180°」または「左右反転」の場合は無効です。

- 「1画面」
  画面上に選択した入力信号を表示します。
- 「PbyP」
  画面上に2種類の信号を並べて表示します。
- 「PinP」
  親画面の上に子画面を重ねて、1つの画面に2種類の信号を表示します。

参考

- PbyPとPinPでは、同じ入力信号を2つの画面に表示できます。
  例：PbyPの場合、「PbyP」の「左画面」と「右画面」の両方で「DisplayPort」を選択します。
- 「SDI 1」と「SDI 2」は同時に表示できません。

表示方向

設定値：「通常」 / 「180° 」 / 「左右反転」

メイン画面の回転角度または左右反転を設定します。「多画面モード」が「PbyP」または「PinP」の場合は無効です。

参考
• 「180° 」を選択した場合、画面に が表示されます。 • 「左右反転」を選択した場合、画面に が表示されます。

言語選択

設定値：「英語」 / 「ドイツ語」 / 「フランス語」 / 「スペイン語」 / 「イタリア語」 / 「スウェーデン語」 / 「日本語」 / 「簡体中国語」 / 「繁体中国語」 / 「ロシア語」 / 「ポルトガル語」

各種メニューや設定で表示する言語を選択します。

PRESET保存 - User1 / User2 / User3 / User4 / User5

設定値：「OK」 / 「キャンセル」

ユーザーごとに現在の設定値、表示状態を保存します。

参考
• 保存される項目は、プリセット（SDI [sRGB] / DisplayPort [BT.2020] / HDMI [BT.2020] / SDI [BT.2020]）と同一です。プリセットの設定項目については、4.1 主な初期設定値 [P. 22]を参照してください。

カスタムキー - [F1] / [F2] / [F3] / [F4]

設定値：「オフ」 / 「バックライト」 / 「ガンマ」 / 「色域」 / 「多画面モード」 / 「表示方向」 / 「画面入替え」

各カスタムキーに割り当てる機能を選択します。詳細はカスタムキーに機能を割り当てる [P. 6]を参照してください。

詳細設定 - 入力自動検出

設定値：「オン」 / 「オフ」

信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。「多画面モード」が「PbyP」または「PinP」の場合は無効です。

- 「オン」

  複数の機器を接続している場合に、特定の機器が省電力モードに入ったりモニターへの入力信号が失われたときは、信号が入力されている他のコネクタに自動的に切り替わります。

- 「オフ」
  入力信号の選択を手動でおこなう場合、この設定にします。この場合は、モニター底面の操作ボタン（⏎）で表示する入力信号を選択できます。詳細は1.2 入力信号を切り替える [P. 6]を参照してください。

参考
• この機能が「オン」に設定されている場合は、すべての機器から信号が入力されなくなったときのみ、モニターの省電力機能が動作します。

詳細設定 - 入力スキップ - DisplayPort / HDMI / SDI 1 / SDI 2 / DVI

設定値：「-」 / 「スキップ」

「入力自動検出」が「オン」の場合に、検出をスキップするポートを選択します。「多画面モード」が「PbyP」または「PinP」の場合は無効です。

参考
• すべてのポートを「スキップ」に設定すると、「入力自動検出」を「オフ」にした場合と同様に、入力信号の検出はおこないません。

詳細設定 - 起動ロゴ

設定値：「オン」 / 「オフ」

モニター起動時のロゴの表示、非表示を選択します。

詳細設定 - SDI1入力イコライザ

設定値：「オン」 / 「オフ」

SDI 1の入力信号を補正します。

参考
• SDIショートケーブル使用時にノイズが現れた場合は、「オフ」に設定してください。

詳細設定 - RS-232C

設定値：「19200 bps」 / 「115200 bps」

RS-232C端子で接続した外部機器からこの製品を制御する場合の通信速度を設定します。

オールリセット

設定値：「OK」 / 「キャンセル」

すべての設定内容を初期設定に戻します。

2.2.4 インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号（S/N）、使用時間）と、入力信号の情報を表示します。

例：

2.2.5 PbyP設定

PbyPで表示しているときに（INPUT）ボタンを押すと、「PbyP設定」メニューが表示されます。

左画面

設定値：「DisplayPort」 / 「HDMI」 / 「SDI 1」 / 「SDI 2」 / 「DVI」

PbyPの左画面に表示する入力信号を選択します。

参考
• 「SDI 1」と「SDI 2」は同時に表示できません。

右画面

設定値：「DisplayPort」 / 「HDMI」 / 「SDI 1」 / 「SDI 2」 / 「DVI」

PbyPの右画面に表示する入力信号を選択します。

参考
• 「SDI 1」と「SDI 2」は同時に表示できません。

画面入替え

左画面と右画面の入力ポートを入れ替えます。

参考
• 入力信号によっては、入れ替えできない場合があります。

2.2.6 PinP設定

PinPで表示しているときに（INPUT）ボタンを押すと、「PinP設定」メニューが表示されます。

親画面

設定値：「DisplayPort」 / 「HDMI」 / 「SDI 1」 / 「SDI 2」 / 「DVI」

PinPの親画面に表示する入力信号を選択します。

参考
• 「SDI 1」と「SDI 2」は同時に表示できません。

子画面

設定値：「DisplayPort」 / 「HDMI」 / 「SDI 1」 / 「SDI 2」 / 「DVI」

PinPの子画面に表示する入力信号を選択します。

参考
• 「SDI 1」と「SDI 2」は同時に表示できません。

PinPサイズ

設定値：「スモール」 / 「ラージ」

子画面のサイズを選択します。

PinPポジション

設定値：「右上」 / 「右下」 / 「左下」 / 「左上」

子画面の位置を選択します。

画面入替え

親画面と子画面の入力ポートを入れ替えます。

参考
• 入力信号によっては、入れ替えできない場合があります。

3 こんなときは

3.1 画面が表示されない場合

画面が表示されない

- 電源コードは正しく接続されていますか。
- ACアダプタのDC OUT端子とモニターのDC IN端子は正しく接続されていますか。
- 電源スイッチを入れてください。
- ACアダプタの主電源ランプは点灯していますか。
- 電源を切り、再度電源を入れてみてください。

画面に「入力信号無し」のメッセージが表示される

例：

- 接続する機器によっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、上のような画面が表示されることがあります。
- 接続する機器の電源は入っていますか。
- 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
- 電源を切り、再度電源を入れてみてください。
- 「本体設定」メニュー内の「詳細設定」 - 「入力自動検出」の設定を「オフ」にして、手動で入力信号を切り替えてみてください（詳細設定 - 入力自動検出 [P. 15]参照）。

画面に「信号エラー」のメッセージが表示される

例：

- 接続する機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。
- 接続する機器を再起動してみてください。

3.2 画面に関する症状

画面が明るすぎる / 暗すぎる

- 設定メニューの「ブライトネス」、「バックライト」を調整してください。

文字がぼやけて見える

- 接続する機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。

残像が現れる

- この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをおすすめします。
- 長時間同じ画像を表示する場合は、接続している機器のスクリーンセーバーまたはスリープ機能を使用してください。
- 表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る

- これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。

画面が突然暗くなった / 調整メニューの「バックライト」の調整値を上げても画面が明るくならない

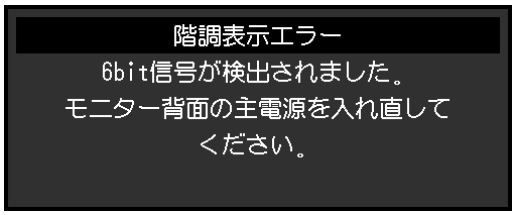
- この製品には放熱用のファンが搭載されています。ファンが正常に動作していない場合は、内部温度を下げるために画面の明るさを制限することがあります。この場合、ファンが正常に動作しているかどうか確認してみてください。

3.3 その他の症状

設定メニューが表示できない

- ロック機能が「オン」に設定されていないか確認してください（1.4 操作ボタンをロックする [P. 7]を参照）。

画面に「6bit信号が検出されました。モニター背面の主電源を入れ直してください。」のメッセージが表示される



- 接続する機器とこの製品の電源を切り、再度電源を入れてみてください。
- 接続する機器の設定を確認してみてください。

4 ご参考に

4.1 主な初期設定値

4.1.1 プリセット

項目		初期設定			
		SDI [sRGB]	DisplayPort [BT.2020]	HDMI [BT.2020]	SDI [BT.2020]
入力ポート	メイン（左画面 / 親画面）	SDI 1	DisplayPort	HDMI	SDI 1
	サブ（右画面 / 子画面）	DVI	SDI 1	SDI 1	DVI
本体設定	多画面モード	1画面	1画面	1画面	1画面
	表示方向	通常	通常	通常	通常
カラー調整	バックライト	100	100	100	100
	ブライトネス	0	0	0	0
	コントラスト	100	100	100	100
	色温度	6500K	6500K	6500K	6500K
	ガンマ	2.2	2.2	2.2	2.2
	色域	sRGB	BT.2020	BT.2020	BT.2020
	色の濃さ	0	0	0	0
	色合い	0	0	0	0
信号設定	カラーフォーマット	自動	自動	自動	自動
	YUVカラーマトリクス	自動	BT.2020	BT.2020	BT.2020
	入力レンジ	リミテッド	自動	自動	リミテッド

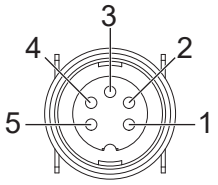
4.1.2 その他

本体設定	言語		英語
	詳細設定	起動ロゴ	オン
カスタムキー	F1		オフ
	F2		オフ
	F3		オフ
	F4		オフ
操作ロック			ロック解除

4.2 ピン仕様

4.2.1 DC IN端子

使用コネクタ：T 3376 518 (Amphenol)



ピンNo.	信号名
1	GND
2	GND
3	F.E.
4	DC 48 V
5	DC 48 V

4.2.2 本体のDC OUT端子

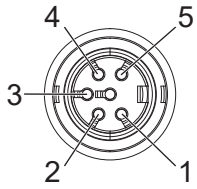
使用コネクタ：HR10A-7R-4S(74) (Hirose)

推奨プラグ：HR10A-7P-4P(74) (Hirose)

ピンNo.	信号名
1	GND
2	GND
3	DC 5 V
4	DC 5 V

4.2.3 ACアダプタのDC OUT端子

使用コネクタ：T 3375 528 (Amphenol)



ピンNo.	信号名
1	GND
2	GND
3	GND
4	DC 48 V
5	DC 48 V

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Incの商標または登録商標です。
DisplayPort、DisplayPortコンプライアンスロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における商標です。
SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

SuperSpeed USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。

USB Type-C、USB-CはUSB Implementers Forum, Incの登録商標です。
DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。
Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AdobeはAdobe（アドビ）の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。
この製品に使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス情報は
www.eizoglobal.com/support/oss/に掲載されています。

00N0N667AZ
IM-EX2742

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved.

Version 1.00 – April, 2026